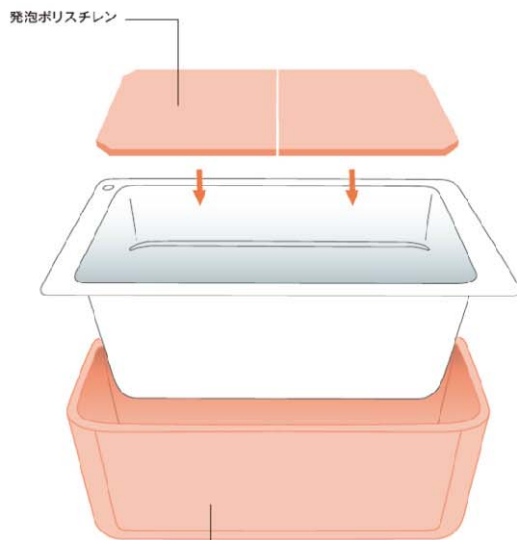


# 保温浴槽 JIS高断熱浴槽準拠<sup>※1</sup>

沸かし直しが減らせる浴槽。  
湯温低下は5.5時間で約2.5℃以内。<sup>※1※2</sup>

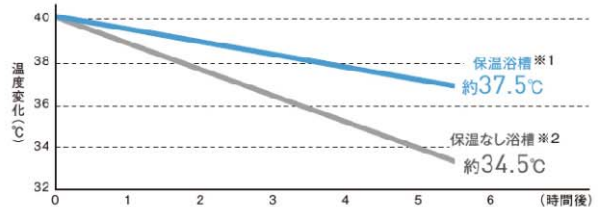


浴槽とフタに発泡ポリスチレン断熱材を使用し、高い保温効果を発揮。  
追い焚き回数が減り、光熱費が節約できます。



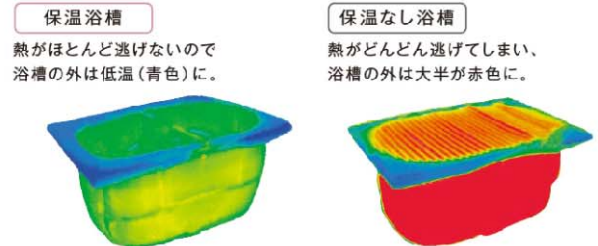
発泡ポリスチレン断熱材 ※イラストはイメージです。現物とは異なります。

浴槽内の温度変化



[浴槽内の温度変化の実験条件]  
 ※1 [JIS基準] JIS高断熱浴槽(JIS A 5532 浴槽) 周囲環境温度:約10℃/浴槽水量:深さ70%/測定開始湯温:約40℃/浴槽サイズ:1100サイズ 風呂フタを閉じた状態で4時間後の湯温低下が2.5℃以下。  
 ※2 当社FRP保温なし浴槽を単品にてJIS基準に基づき測定。  
 ※ 湯温低下に関する注意 浴槽内の温度変化は、JIS基準の条件での値です。ご使用の条件で湯温低下は異なってきます。以下の場合、湯温がカタログ表示値より低下します。  
 ・浴槽内の湯を循環させることで凍結を防止するタイプの追い焚き付き給湯器をご使用の場合。  
 ※保温浴槽の場合は循環式浄化温水器(24時間バス)には対応できません。  
 ※シミュレーションの計算は2014年3月時点。消費税は5%で計算。

## サーモグラフィによる保温性能比較



[測定条件] 湯温約43℃清水状態で風呂フタを閉めて10分後にサーモビューアで撮影

機能バリエーション

プランバリエーション

部材一覧

プランニングガイド

部材品番一覧

設計資料